



防災部長就任あいさつ

松本國男



この度、永年にわたりご尽力下さいました山崎増男さんが防災部長を退任され、松本國男さんが防災部長に就任されました。

去る6月2日に行われた町会役員会において、町会長より防災部長を嘱託されました松本國男(住居1-12-29)です。

前部長の山崎さんからバトンを引き継ぎ、今後、関係部門及び住民の皆さんと共に防災意識の向上、対策の実施等に努力いたす所存ですのでよろしくお願いたします。

さて、防災活動について多くの方は、一般的に必要なことと思っておりますが、その取組方にはかなり温度差があるようです。その最大理由は、「大災害が何時起こるか」の不確実性の点、また「その時は行政がなんとかしてくれる」という楽観的・他力本願意識等にあると言われております。駒場は世帯数およそ3,600、人口は6,500名と区内では小さくない街です。いざ災害が発生した時、住民の協力を得て如何に被害を最小限にするかが最大の課題です。住民の皆さんの理解と協力無しには到底おぼつきません。

古くから日本には「備えあれば憂いなし」という諺があります。いざと言う時のため、今年是从来から実施されている防災非難訓練はもとより、安全確保の点から次の事項を積極的に取り組み展開したいと考えております。

1. 住宅用火災警報器取付の促進・援助
2. 初期消火に係わる消火器の設置
3. 各家庭における飲料水配備の促進
4. 家具等の転倒防止対策の促進・具体的方法

災害時に一番大切なことは、命を守ることです。自分の命は自分で守ることが鉄則です。そして家族、近所、町内会、助け合いの輪を広げていきましょう。

防災部長回想録

山崎増男



平成3年防災部に入部、5年に防災部長を受けて以降15年その任に当たって来ました。

当時の防災は消火活動が中心で、東大前、バス通り、西駒三角橋と、商店会ごとに防災部を結成して、消火ポンプを納める防災倉庫を整備、一ヶ月に3、4回はポンプ操法の訓練を行いました。区が主催する市民消火訓練には、一週間の特訓を続けて参加した思い出があります。

避難訓練で東山中学校に参加、駒場小学校で行う夜間訓練では、婦人部の協力で炊き出しなどにも取り組みました。豪雨による商店街の浸水を、ポンプで排水したこともありました。

こうした活動は、日中に動ける商店会が中心のため、商店の減少・高齢化という社会の変化に伴い、防災も新しい取り組みの時期に来たと思います。

防災部長として忘れられないのは駒場の大火です。平成10年2月4日午後5時55分出火、22棟が全半焼、消防車の出動23台という未曾有の大火災となり、真冬の深夜に全焼した3家族を町会事務所泊めて、区の防災課長白鳥さんと共にお世話をしました。猛火が這い登った空川の崖地が、防災地帯として現在の形に整備されて、良かったと思っています。

今後の予定

7月19日(土) 夜間避難所体験(主催目黒区)
午後5時〜8時 於鳥森小学校

10月19日(日) 駒場防災訓練

(内容については検討中)